

専任教員数

2024年5月1日現在

	教授	准教授	助教	計
食物栄養学科	3名	4名	0名	7名
キャリア創造学科	3名	3名	0名	6名

※非常勤教員数:33名

※専任教員と非常勤教員の比率 専任 28.2% : 非常勤 72%

年齢別教員数

年齢別教員数

2024年5月1日現在

学科名	職位	39歳以下		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		合計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
食物栄養 学科	教授	0	0	0	0	1	0	1	1	2	1
	准教授	0	0	1	0	1	2	0	0	2	2
	助教	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	1	0	2	2	1	1	4	3
キャリア 創造学科	教授	0	0	0	0	2	0	0	1	2	1
	准教授	0	0	0	0	1	2	0	0	1	2
	助教	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	3	2	0	1	3	3
全体	計	0	0	1	0	5	4	1	2	7	6
年齢別構成比		-	-	8%	0%	38%	31%	8%	15%	54%	46%

3 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること □□専任教員□□

教員組織

2024年5月1日現在

役職等	学位	氏名	業績	担当科目
教授	修士(工学)	山口 真理	『山本鼎の日本農民美術運動』デザイン学研究第42巻2号、1995、『工学系デザイン教育機関の専門教育内容の変遷』デザイン学研究第57巻6号、2011	コンピュータと情報、情報文化論、情報リテラシー演習Ⅰ・Ⅲ、CG実習、基礎デザイン論、コンピュータ演習Ⅰ、フライダールデザイン実習
教授	博士(健康学)	森 久栄	【著書】 『Nブック栄養指導論』(建帛社2009)、『Nブック改訂栄養指導論』(建帛社2015)、『栄養教育・指導実習』(建帛社2016)、 『はじめて学ぶ健康・栄養系教科書シリーズ12公衆栄養学』(化学同人2017) 【論文】 『The effect of the meal support for the metabolic syndrome improvement which focused on meal balance』15th International Congress of Dietetics (2008)、 『診療所における糖尿病患者のニーズと食事指導の効果に関する一考察』大阪夕陽丘学園短期大学紀要53号(2010)、 『母親の食育に対する認識およびスキルとしての食事バランスガイドの活用と幼稚園児の食生活との関連』大阪夕陽丘学園短期大学紀要(2016)、 『地域活動栄養士の継続した食育活動についての効果に対する検討』日本栄養士会雑誌(2018)、 『乳児院、児童養護施設における食物アレルギー児の在籍状況および給食対応の実態』ガイドライン・マニュアルの有無別の比較』日本公衆衛生雑誌(2019)、 『社会的養護施設と一般保育所・小学校における食物アレルギー児の給食対応について』大阪夕陽丘学園短期大学紀要(2019)、 『乳児院・児童養護施設における食物アレルギー児の給食対応に関する課題』ガイドラインの有無別に見た栄養士・管理栄養士の意見から』人間健康研究科論集(2019)、 『新型コロナウイルス感染症対策を施した調理系実習における主観的理解度についての検討』オンラインと対面での比較』大阪夕陽丘学園短期大学紀要(2020)、 『チューター・チューティーの変化から見たチューター活動の評価』大阪夕陽丘学園短期大学紀要(2022)、 『知的障害のある人の肥満の現状と食習慣に関する検討』大阪夕陽丘学園短期大学紀要(2023) 【行政計画策定委員】 貝塚市「第2期健康かいつか21」計画策定委員会委員(2013) 【委員歴】 第10回大阪府栄養士会太田いそ研究奨励賞(2003)、第10回大阪府栄養士会太田いそ研究奨励賞(2006)、日本栄養士会会長表彰(2013)、第6回大阪府健康づくりアワード奨励賞受賞(2021)	栄養指導論、栄養指導論実習Ⅰ・Ⅱ、栄養指導各論、キャリアガイダンス、食事摂取基準論、特別研究Ⅰ・Ⅱ
教授	博士(獣医学)	成田 和巳	・大阪市内の鮮魚店で購入したスルメイカのアニサキス幼虫感染状況の調査、成田和巳、大阪夕陽丘学園短期大学 紀要 第64号(2021) ・絶食により増加する走行運動に対するレプチンの抑制効果、成田和巳、大阪夕陽丘学園短期大学 紀要 第63号(2020) ・Isotope-labeled pyrylium compound, ヨーロッパ特許, EP2837825 B1, June 17, 2017. ・The ventromedial hypothalamus oxytocin induces locomotor behavior regulated by estrogen, Narita K, Murata T, Matsuoka S, Physiol Behav. Vol. 164, Pp.107-112, 2016. ・アミン含有非ペプチド化合物を高効率かつ高感度で多量定する方法およびそのためのキット、私川 茂、成田和巳、下平靖記、2016.7.1、特許第5958957号 ・Quantification of brain dopamine and amino acids with high resolution mass spectrometry using novel stable isotope labeled reagent, J Physiol Sci 2014, vol 64, (Suppl) S158, Kazumi Narita. ・質差分析によるラット脳ドーパミンの高感度定量、成田和巳、Scientific Instrument NEWS (2013) vol.56(1) pp10-15. ・Dietary deficiency of essential amino acids rapidly induces cessation of the rat estrous cycle, Narita K, Nagao K, Bannai M, Ichimaru T, Nakano S, Murata T, Higuchi T, Takahashi M, PLoS One. 2011; 6(11): e28136. ・Voluntary wheel running restores leptin resistance in the rats fed with high fat diet. Narita K, Murata T, Ichimaru T and Higuchi T, J Physiol Sci Vol. 58 (Suppl) S94 (2008) ・運動を起こす視床下部～視床下部走行ニューロンによる本能的な走行運動の発現～、成田和巳、村田拓也、樋口隆、体育の科学 56巻1号、18-21 (2006) ・Estrogen facilitate the running behavior induced by oxytocin injection into the rat ventromedial hypothalamus, Narita K, Murata T and Higuchi T, The Japanese Journal of Physiology Vol. 56 (Suppl) S207 (2006) ・Fasting induced changes in GABA and glutamate release in the ventromedial hypothalamus using in vivo microdialysis. Narita K, Murata T and Higuchi T, Neurosci Res Vol. 50 (Suppl 1) S189 (2004)	解剖生理学、解剖生理学実習、食品衛生学、化学、生物学、食物基礎科学、食品衛生学実験、特別研究Ⅰ
教授	博士(経済学)	宇都宮 浩司	【著書】 ・北川勝彦・北原聡・西村雄志・熊谷幸久・柏原宏紀編『概説世界経済史(増補改訂版)』分担任筆(昭和堂、2022年)分担任筆 ・細川道久編著『カナダの歴史を知るための50章』(明石書店、2017年)分担任筆 【論文】 ・「新しい「公民科目」『公共』における社会保障教育の課題と可能性」九州国際大学『教養研究』第27巻第2号(2020) ・「神戸市A社による地域密着型の小売戦略」日本都市学会『日本都市学会年報』第53巻(2020) ・「阪大観望期の日加貿易史に関する一考察-通商協定の発動と適用をめぐって」九州国際大学『教養研究』第26巻第1号(2019) 【研究ノート】 ・「神戸市における農産物運搬事業の特質と課題—法人Aの事例—」九州国際大学『教養研究』第26巻第2号(2019) 【調査報告書】 ・「数労継続支援B型事業所の経営方式と人材育成」神戸国際大学経済文化研究所『経済文化研究所年報』第30号(2021) ・「中中日系銀行企業における国際分業」神戸国際大学経済文化研究所『経済文化研究所年報』第30号(2021) ・「中中日系銀行企業における対中進出と環境規制」神戸国際大学紀要』第100号(2020) ・「神戸市における靴小売業の展開」神戸国際大学『経済文化研究所年報』第29号(2020) ・「尾崎市の金属加工メーカーM社における熟練工と競争力」神戸国際大学紀要』第98号(2019) 【学会報告】 ・「神戸市における地域密着型小売戦略—オフプライズストア型小売企業の地域資源活用型の経営方式—」日本都市学会第66回全国大会(2019)	コーポ実践特論Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ、夕陽学、経済学、経営学、マーケティング論、キャリアデザイン概論、キャリア基礎演習Ⅰ、ビジネス実務演習Ⅱ、キャリアデザイン特論、インターンシップA・B、フィールドワークA
教授	修士(文学)	笹倉 千佳弘	・『育つ・育てる・育ちあう—子どもととなの関係を問い直す』明石書店、2008年 ・『子どもを育てない親、親が育てない子ども—妊婦健診を受けなかった母親と子どもへの支援—』生活書院、2015年 ・『産後7日目のまちの地域養育活動—産後で暮らす子どもの子育ての社会化と世帯内行—』生活書院、2017年 ・『はじめて保育・教育を学ぶ人のために(わがちあひ)の共育学—教職課程コアカリキュラムに基づく教員養成テキスト—』明石書店、2019年 ・『はじめて保育・教育を学ぶ人のために(わがちあひ)の共育学』応用編—子どもと共に未来図を描こう—』明石書店、2021年 ・『自分で自分を不幸にしない—性的虐待を受けた女性の語りから—』生活書院、2023年	教育原理、教職概論、教育課程論、教職実践演習(栄養教諭)、栄養教育実習(学内)、栄養教育実習(学外)、道徳・総合的な学習の時間、特別活動の理論と方法、教育の方法と技術、国語表現法、現代社会と生活、キャリア基礎演習Ⅱ
准教授	修士(芸術学)	白坂 文	・「トレンド予測を盛り込んだ花嫁衣裳の制作—NDKファッションショー—出品作品の考察—」大阪夕陽丘学園短期大学 紀要 第66号(2023) ・「今日の若者の衣服における消費者行動について—2018・2019年の調査実態比較より—」ファッションビジネス学会論文誌Vol.27(2021) ・「ファッションデザインコースの学習進捗イベント」近鉄百貨店「大阪夕陽丘学園短期大学 紀要 第64号(2021) ・「ウエストゲーツの縫い開始位置による縫い崩れ及び仕上がりの実しさ、指導法に関する検討」武庫川女子大学生活環境学研究9号(2021) ・「キャリア創造学科メイク実習における3Dプリンタ教育媒体の利用」日本教育情報学会年論文集36(2020) ・「コロナ禍における高校生の布マスクの好みについて—オープンキャンパスに参加した高校生を対象に—」大阪夕陽丘学園短期大学 紀要 第63号(2020) ・「パールコレクション2020in志摩」大阪夕陽丘学園短期大学 紀要 第63号(2020) ・「中学校家庭科教材としての縫製手順の検討—ハーフパンツを事例として—」武庫川女子大学 学校教育センター紀要 第5号(2019) ・「産学官連携の記録—『パールコレクション2019in志摩』を一例として—」大阪夕陽丘学園短期大学 紀要 第62号(2019) ・「スポーツ—ティ—とエレガンスの融合—スポーツ—カウテルドレスの提案—」大阪夕陽丘学園短期大学 紀要 第62号(2019) ・「基礎縫いの技術に関する考察と被服製作に対する意識について」大阪夕陽丘学園短期大学 紀要 第61号(2018) ・「フライダルファッションにおける新しいデザインの提案」大阪夕陽丘学園短期大学 紀要 第61号(2018) ・「ゲーツの縫い始め位置の違いが仕上がりにも与える影響」日本家政学会関西支部 第40回研究発表会(2018) ・「アパレル企画論におけるアクティブ・ラーニングの取り組み」神戸松蔭女子学院大学教職支援センター 年報No.3(2018)	ファッションコーディネーター演習、アパレル構成学及び実習Ⅰ、フライダールタイル構成実習、アパレル構成学実習Ⅱ、ファッションクラフト実習、プロジェクト演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB、キャリアデザイン特論

役職等	学位	氏名	業績	担当科目
准教授	修士(都市経営)	向山久子	<ul style="list-style-type: none"> 「産官学連携事業の記録『バーズコレクション2020m志摩』」大阪夕陽丘学園短期大学 紀要 第63号(2020) 「産官学連携事業の記録『やぶ市民交流広場〜ハーベストウェディング〜』大阪夕陽丘学園短期大学 紀要 第64号(2021) 	キャリアデザイン概論、キャリアプランニング、ブライダル概論、ブライダルプランニング実習、ブライダルプロデュース実習、ホスピタリティ論、ブライダルマーケティング論、ブライダルビジネス論、プロジェクト演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB、キャリアデザイン特論
准教授	修士(食物栄養科学)	高嶋典子	<ul style="list-style-type: none"> 【論文】「給食の運営」校外実習における新型コロナウイルス感染拡大の影響分析および振替実習と学習到達度比較-2021年度「チューター・チューティーの変化から見たチューター活動の評価」(共著)大阪夕陽丘学園短期大学紀要第65号(2022)大阪夕陽丘学園短期大学紀要第65号(2022)「動物性食品におけるゲル化剤を用いた嚥下調整食の適切な提供方法について」同志社女子大学生生活科学vol.52(2019) 【著書】「よりよい嚥下(調整)食を提供する給食管理のコツと作り方」嚥下食メニューコンテスト入賞作品集Vol.2(衛生デザイン研究所(2019) 雑誌Nutrition Care連載「つくて楽しい、食べておいしい! 嚥下障害者のための調理の工夫」第6巻4号-第7巻3号「和菓職スイーツお菓子の玉手箱 春夏秋冬季節&郷土のお菓子で嚥下調整食」第7巻6号-第8巻9号「メディア出版2019-2015」 【学会発表】「嚥下調整食の教育動向とハイブリッド型調理実習の開催報告」姫路市地域包括支援センターを通じてフレイル予防のための栄養啓発活動」日本臨床栄養代謝学会学術集会(2023) 「広げよう支援の輪 医療的ケア児の摂食嚥下障害」京滋摂食嚥下を考える会第11回大会web開催の報告、滋賀県多職種連携学会(2021) 管理栄養士養成課程における臨床栄養活動の実践教育-NST専門療法士の実務家教員として、日本臨床栄養代謝学会学術大会(2021) 管理栄養士養成課程におけるフレインシューティングによる問題志向型診療記録(POMR)の学習の教育手法について、日本栄養改善学会近畿支部学術総会(2020) 京都府の病院における嚥下調整食の提供状況調査、日本栄養改善学会学術総会(2019)動物性食品における嚥下調整食の適切な調理条件について-品温、水分量および脂質量が物性に及ぼす影響、日本栄養改善学会学術総会(2018) 【講演】(一社)兵庫県社会福祉士会 西はりまブロック研修講師「嚥下リハ×栄養×YOU」(姫路市民会館、2022.11.6) 滋賀県リハビリテーションセンター 摂食嚥下コース教育研修講師「食べ物を飲み込みやすくする工夫」(守山市すこやかセンター、2022.10) 滋賀県リハビリテーションセンター 教育研修事業 摂食嚥下コース教育動画「食事編①とろみ剤の使いかたと濃度調整」「食事編②嚥下調整食の作りかた(主食)」「食事編③嚥下調整食の作りかた(市販食品)」フードシステムソリューション2017主催セミナー講師「最期まで口から食べるために〜地域で支える嚥下食革命! 京都・滋賀の挑戦〜」(東京ビックサイト、2017.9) 【受賞歴】(一社)日本医療福祉セントラルキッチン協会「第1回地域の伝統食でつくる嚥下食メニューコンテスト2013」最優秀グランプリ受賞 	給食管理実習Ⅰ・Ⅱ、給食管理実習Ⅲ(学外)、献立作成論(給食)、献立作成演習、給食管理論、栄養学特論、特別研究Ⅰ
准教授	博士(学術)	永島聡	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談・生徒指導場面において「様子を見る」こと——「逆説志向」から考える、『神戸常盤大学紀要』第10号、2017 ・大学や高校を中退することの意味——学生相談・教育相談・生徒指導場面から考える、『神戸常盤大学紀要』第11号、2018 ・共生とは善なるのか? : 学生相談・教育相談・生徒指導場面そして看護場面から考える、『神戸常盤大学紀要』第12号、2019 ・多文化共生社会における「empathy」と「共感」——両概念は本当に重要なのか、『神戸常盤大学紀要』第13号、2020 ・外国にルーツを持つ子どもが「自閉症スペクトラム」とみなされることについての考察 - 多文化共生社会における教育相談の課題、『神戸常盤大学紀要』第14号、2021 ・「雑談」のような対話をFrankl思想の「人間観の3つの柱」等から考える、日本学生相談学会第40回大会発表論文集、2022 	心理学、生徒指導・教育相談の理論と方法、教育心理学、リラクゼーション論、哲学、キャリアガイダンス、特別研究Ⅰ・Ⅱ、フィールドワークA
准教授	博士(医学)	大西浩之	<ul style="list-style-type: none"> ・「高濃度ポリフェノール含有天王寺蕪スプラウト作出のための養液条件の検討—アミノ酸添加の影響—」、大西浩之、治京玉記、大阪夕陽丘学園短期大学 紀要 第64号(2021) ・「漬漬けに伴うナスの物性変化と品種間差」、大西浩之、高澤大介、吉岡弘毅、大阪夕陽丘学園短期大学 紀要 第62号(2019) ・“Stromal cell-derived factor-1(SDF1)-dependent recruitment of bone marrow-derived renal endothelium-like cells in a mouse model of acute kidney injury”, J. Vet. Med. Sci. 77:313 (2015). (2015JVMSS論文賞受賞) ・Biochemical Basis and Therapeutic Implications of Angiogenesis, Chapter 22 “Physiological Roles and Therapeutic Implications of Hepatocyte Growth Factor for Angiogenesis” (pp.413-443). 2013. ・“Identification of mannose receptor as a receptor for HGF β-chain: A novel ligand-receptor pathway for enhancing macrophage phagocytosis”, J. Biol. Chem. 287: 13371 (2012). ・“Inhibition of tubular cell proliferation by neutralizing endogenous HGF leads to renal hypoxia and bomarrow-derived cell engraftment in acute renal failure”, Am. J. Physiol. Renal. Physiol. 294: F326 (2008). ・“Inhibition of cell proliferation by nobilletin, a dietary phytochemical, associated with apoptosis and characteristic gene expression, but lack of effect on early rat hepatocarcinogenesis in vivo”, Cancer Sci. 95: 936 (2004). 	食品学Ⅰ・Ⅱ、食品学実験Ⅰ・Ⅱ、生化学、特別研究Ⅰ、生化学特論
准教授		丹莖裕	<ul style="list-style-type: none"> 【研究・教育に関する受賞歴】 「ひょうごの匠(菓子製造職種)」,2017年4月 「神戸市優秀技能者表彰」,2017年9月 「兵庫県技能顕功賞」,2022年11月 	製菓理論Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ、製菓実習Ⅲ・Ⅳ・Ⅵ、社会、プロジェクト演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB、キャリアデザイン特論
准教授	修士(健康科学)	花岡智子	<ul style="list-style-type: none"> 【著書】子どもの食と栄養(株)清路社 共著 担当 第4章1「妊婦期と胎児の栄養」第4章3「離乳期の栄養」(4)食べる機能の発達 【論文他】 *2型糖尿病モデルラットにおいて、長期間の自発的運動が、筋骨微細構造と骨強度の劣化を防ぐことを見つけた。2017, 1, 433-43. Journal of musculoskeletal & neuronal interactions Akira Minematsu, Tomoko Hanaoka, Daisuke Takeshita, Yoshihiro Takada, Shunji Okuda, Hidetaka Imagita, Susumu Sakata *2型糖尿病モデルラットOtsuka Long-Evans Tokushima Fatty(OLETF)が、腎障害バイオマーカーによる解析により糖尿病誘発性慢性腎不全疾患の病態モデル動物として適していることを証明した。第68巻、pp55-61 兵庫川女子大学紀要 2021年3月 保井俊英、花岡智子、高田義弘、竹下大輔、瀧尾弘樹、進藤大典、中谷昭、坂田進 *2型糖尿病モデルラットにおいて、長期間の自発的運動が、解糖系で得られるエネルギーを用いて筋収縮を行う速筋線維typeIbの減少を抑制することを見つけた。この機序により、継続的な運動が糖尿病ラットの握力低下を防ぐことが明らかになった。2021, 9, e15046. Physiological Reports Yoshihiro Takada, Tomoko Hanaoka, Hidetaka Imagita, Toshihide Yasui, Daisuke Takeshita 1, Masami Abe, Shinnosuke Kawata, Taku Yamakami, Keisuke Okada, Hiroe Washio, Yurui Okuda, Akira Minematsu, Tomohiro Nakamura, Shin Terada, Takashi Yamada, Akira Nakatani, Susumu Sakata * 調理師試験講習会 調理師試験受験者を対象に、「食品衛生学」・「公衆衛生学」の過去問題の解説を行った。2021年6月、2022年5月調理師免許指導協会(於)京都アスニ 	応用栄養学、ライフステージ栄養学実習、臨床栄養学実習、ライフステージ栄養学、キャリア実習Ⅰ、健康栄養論、特別研究Ⅰ・Ⅱ